

ハンドボール

No 19

第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体)ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月19日(日)	試合番号	Aチ	回戦	準決勝
種別	少年男子	会場	東部スポーツ広場体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
神奈川県			宮崎県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
36	20	前半	16	32	
	16	後半	16		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

少年男子準決勝は、神奈川⑩宮崎の先制点から始まった。神奈川はそのまま流れを掴み、ポスト⑨園田を有効に使った攻撃や、③庄山、②村田のミドルシュートなど、セットプレイで得点を重ねていく。対する宮崎は、⑤松嶺の速攻や、リスタートをうまく使った⑧安田の得点、③久保のカットインなどスピードのある攻撃で応戦するが、開始15分で13-7と点差が開く。宮崎は流れを変えるべく、タイムアウトを申請。その直後に、②中村のステップが決まり、さらには神奈川が一人退場を出したことで、宮崎が流れに乗る。⑧安田のカットインや④清家の速攻が決まり、点差は3点差に縮まる。しかし、神奈川も②村田と③庄山が中心となり、緩急のついた攻撃で得点し、それ以上の追い上げを許さない。20-16の神奈川リードで前半を折り返す。

開始30秒、宮崎の②中村がミドルで得点すると、神奈川②村田もミドルで取り返す。後半も序盤から点を取り合う熱い戦いに。宮崎は、④清家のカットインや⑦福村の速攻などで得点を重ね、神奈川を1点差にまで追い詰める。しかし神奈川も、①飯田の好セーブや、④石井の速攻得点で再度、宮崎を引き離し、リードを譲らない。終盤、宮崎④のカットインや、神奈川⑤伊藤のサイドシュートなどによる点の取り合いに加え、両チームのキーパーが速攻チャンスを阻止する好セーブを見せ、会場の盛り上がりは絶頂に。終了間際に、神奈川が退場者を出すなど、最後まで油断できない展開となったが、36-32で点差を守り切った神奈川が勝利し、決勝へと駒を進めた。

記載者氏名

熊本清佳

送信日時

10月 19日(日) 13:13

送信者サイン

濱田 剛光